



スズカ電工株式会社



当社施工：姫路市太陽光発電施設

- 本社所在地：大阪市中心区本町4丁目8-1
- 事業概要：太陽光・バイオマス・地熱発電設備建設、
オンサイト太陽光発電設備建設、
EVステーション建設
- 常時使用する従業員：64名
(2025年3月時点)
- 現在の売上高：55億円
(2025年3月期)
- 法人番号：7120901014823
- Web：<https://www.suzuka-denko.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
佐藤 成俊

「エネルギーを通して未来をデザインする」
脱炭素社会の実現に向け、GX/DX人材育成によるリパワリング。

当社を取巻く市場環境はAIやIoTといったDX、大きな変革の波が押し寄せています。これに対応するため、「GX・DX人材育成のための研修センター」を開設し、100億企業を目指します。具体的には急拡大する蓄電池事業やFIP転太陽光事業にはヒトの能力を超えた業務が存在します。それを克服するにはAI等のスキルが必要です。研修センターでAIを活用した予測技術、市場判断などを習得することにより、今までの請負業から脱皮し企画から運営までの事業の総合マネジメント企業へと躍進します。この研修センターは地域の取引先、大学などへ扉を開き、自社人材だけでは賅えない拡大市場を担う人材を育成します。GX/DX人材が今までの電気工事業の概念を変えることで賃金・職業イメージ含めて業界全体のステージアップが可能です。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2026年度 105億円の売上達成を実現するため年率37.6%の成長を目指します。非常に高いタスクですが、現時点で多くの系統用蓄電池、FIP転太陽光の案件の打診を頂いております。
2029年度で売上は年率14.8%成長、営業利益26.4%増で計画しています。

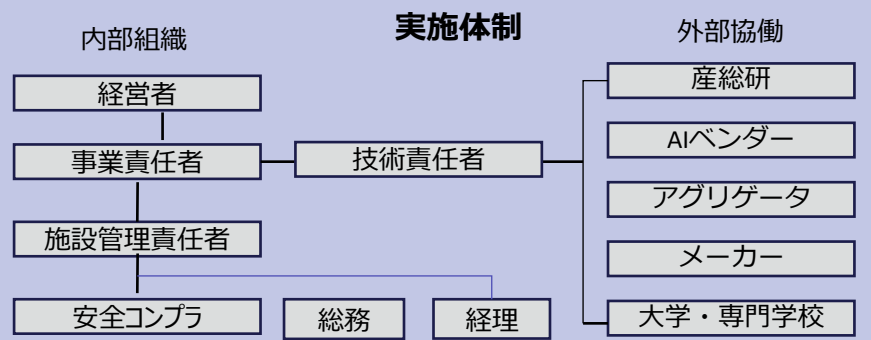
課題

この高いタスクを克服するために必要なのは対応人材です。現時点では工事請負は人員だけの課題ですが、今後の更なる成長を目指すために高度なDX人材の確保が必須です。人手不足の昨今、業務効率をアップ、待遇面などを向上させるためにはAI等を理解するDX人材が必要です。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 2026年度に売上高100億円を達成するために
- ① DXエンジニアリング事業の確立
 - ・研修センター設立による人材育成（年間育成数6名以上※外部含まず）
 - ・蓄電池・FIP転太陽光など新規市場での受注（1案件：8億～30億）
 - ・企画～調達～施工～運用までプロジェクトマネジメント体制への移行
 - ② パートナー連携による業界ネットワーク構築
 - ・メーカー、取引先と人材育成コンソーシアム設立、共通教育基盤構築
 - ③ 産学官連携による高度技術者の創出
 - ・産総研や大学などと次世代バッテリー人材の育成



※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです